

令和2年度 台湾への日本産「本格梅酒」輸出促進事業

令和3年3月12日(金)から21日(日)の間に、台湾(台北市)の大規模商業施設(遠百信義A13)において、「GI和歌山梅酒」を中心とした、日本産「本格梅酒」のアンテナショップを出店。一般消費者向けの試飲販売会を開催し、開催期間中、約14万人が来店。

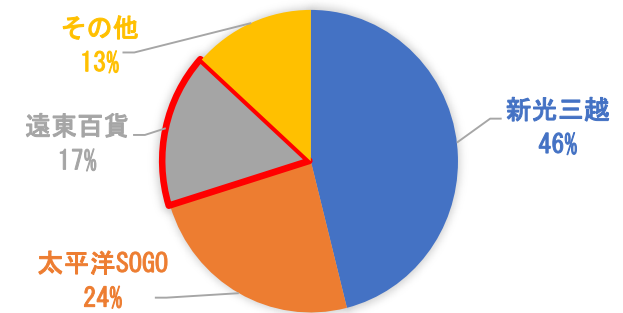
また、新たな販路開拓のため、台湾の有力な酒類取扱事業者とのウェブ商談会を実施(7社が商談し、全社商談継続中)。

※ 試飲・販売会の来場者等からの引き合いもあり、別途商談会を実施。

※ 併せて、台湾では一部地域の酒類の取扱いを自主規制している実態があることから、日本産「本格梅酒」の「安心・安全」をPR。

(参考)ウェブ商談会に招聘した台湾の有力な酒類取扱事業者(遠百百貨バイヤー)のシェア

台湾における主要百貨店売上シェア



(出典) 交易財団法人 日本台湾交流協会
2019台湾の経済 Economy of Taiwan DATA BOOK

【イベント概要】

- ◆ 28者45銘柄の日本産「本格梅酒」について、試飲をはじめとしたPRを実施。
- ◆ 台湾人インフルエンサーによる日本産本格梅酒試飲販売会に関する情報発信。
(Facebookフォロワー数 約15万人、Instagramフォロワー数 約8,000人)
- ◆ 現地販売事業者の協力の下、日本産「本格梅酒」の販売も実施。準備した日本産「本格梅酒」866本(約300万円)のほとんどが完売。